



あなん カルチャー

■ 第12回夢ホールコンサート出演者募集! (12月20日、21日開催予定)

応募資格

- ①大学および短期大学の音楽科を卒業された方
- ②演奏活動を継続している団体 (20歳以上)

演奏種目 器楽、室内楽、声楽
演奏形態 独奏、重奏、合奏、独唱、重唱、合唱
演奏方法 原則として音響楽器を使用しない自然音
演奏時間 15分程度
参加費 1人3,000円
申込方法 出演申込書(文化会館備え付け)を持参または郵送してください。

申込締切日 8月26日(火)必着
申込み・問い合わせは
 〒774-0030 富岡町西池田135番地1
 文化会館 (☎21-0808) へ

■ 第15回みんなでピアノ物語

公募による出演者がグランドピアノ「ニューヨーク
 スタインウェイ」を演奏します。
日時 8月23日(土)、24日(日) 11:00開演
 ※出演者数により開演時間を変更する場合があります。
場所 夢ホール (文化会館)
入場料 無料
問い合わせは 文化会館 (☎21-0808) へ



科学 センター

ペルセウス座流星群観望会

(有料・申込不要)

ペルセウス座流星群の説明などに併せて土星も観望します。
日時 8月12日(火) 午後7時30分〜10時
参加料 大人300円、高校生250円、小中学生200円、幼児無料
参加方法 当日、開始時間までに科学センターにお越しください。
 ※悪天候の場合は中止。

夏休み特別観望会(有料・要申込)

毎週土曜日の夜間に実施している天体観望会に加え、お盆の期間にも実施します。
日時 8月14日(木)、15日(金) 午後7時〜8時、9時〜の各3回(各50分程度)
定員 各回30人程度
参加方法 事前に電話、またはホームページからお申し込みください。
 ※悪天候の場合は中止。

かんたん天体写真講座

「星空の写真を撮るぞっ!」(有料・要申込)

デジタルカメラを使って、きれいな夜空の星を撮影します。
日時 8月24日(日) 午後7時〜9時30分
対象 小学生以上でデジタルカメラの基本操作ができる方。
定員 30人(定員に達し次第締切)
参加料 大人300円、高校生250円、小中学生200円
参加方法 事前に電話、またはホームページからお申し込みください。
持参物 デジタルカメラと三脚など

昼間の星の観望会(有料)

大型望遠鏡を使って昼間に見える金星や一等星の観望会を実施します。
日時 毎週日曜日 午前11時30分〜
参加料 大人100円、高校生以下無料
参加方法 当日、開始時間までに体験館事務室で受付してください。
 ※悪天候の場合は大型望遠鏡の説明を行います。

おもしろ科学実験(無料)

夏休み期間中の平日午後2時20分〜土・日曜日は午前11時〜午後2時20分までの2回実施します。くわしくはお問い合わせください。

問い合わせは 科学センター
 (☎42-1600) へ
8月の休館日
 4日(月)、11日(月)、18日(月)、25日(月)

平成26年度

阿南市文化財講座

5月15日に開講した「阿南市文化財講座」でご講演をいただいた講師の方に、ご寄稿をいただきました。今月号から10回にわたり連載します。(「ふるさと探訪」は休みます。)

第1回

阿南市の歴史

〜原始から戦国時代まで〜
 阿南市文化財保護審議会
 会長 湯浅 良幸さん

長国について

古代の徳島には二つの「くに」があった。一つは吉野川流域に存在した粟国。もう一つは、那賀川流域に存在した長国である。現代と昔では地名が異なるのは良くあることだが、古代の徳島においては、『那賀川』は『長川』という名前で呼ばれていた。長国に関して大きな転機が訪れたのは大化元(六四五)年のことである。長国は粟国と合併し阿波国となり、以降は長郡(評)としてその形を残すこととなった。

長国の勢力は那賀川流域以外にも園瀬川、勝浦川、海部川流域に至るまで広い範囲に及んだ。阿波国に統一されて、北部を勝浦郡、南部を那賀郡とし、平安時代後期には海部郡

が独立することになった。

長国の歴史・遺跡

では、長国の範囲に存在する遺跡の内、阿南市内にある遺跡を古い順からいくつか紹介しよう。
 旧石器時代の遺跡としては、「桑野町甘枝遺跡」がある。甘枝遺跡は昭和四十二(一九六七)年に発見され、ナイフ型石器などの石器が出土した。
 縄文時代の遺跡は、「新野町西重友遺跡」が知られ、ここからは縄文時代の石鏃が見つかっている。
 弥生時代に関しては、「福井町荒神塚遺跡」、「富岡町正福寺山遺跡」、「水井町若杉山遺跡」などがあり、このころから米作りが始まり、鉄器や青銅器が生産されていた様子を伺うことが出来る。
 弥生時代の重要な遺物として銅鐸がある。阿南市から出土した主な銅鐸は、「下大野町畑田」、「山口町田村谷」、「山口町北谷」、「椿町曲り」等がある。その中でも、昭和三十七(一九六二)年に国の重要文化財に指定された、「山口町田村谷」の銅鐸や、昭和四〇(一九六五)年に発見された「下大野町畑田」の銅鐸は全国的にも貴重なものである。中



流水文銅鐸 山口町田村谷 出土

も、畑田の銅鐸は、他に例えのない、内突帯がない銅鐸である。
 古墳時代の遺跡は、「内原町国高山古墳」、「椿泊町舞子島海島古墳群」等多く、国高山古墳は五世紀に造られた県南最大の前方後円墳である。平安時代の遺跡は、「白鳳期に創建された「宝田町隆善寺(立善庵寺)」があり、そこからは古瓦、礎石が出土している。
 また、式内社であり大己貴命(大國主命)を祭神としている「八杵神社」には、平安時代の神像、法華経二品家政所下文が残されており、いずれも国の重要文化財となっている。
 延暦十六(七九七)年、弘法大師空海が二十四歳の時に執筆した『三教指帰』の中には、太龍寺山の記述が見られ、この頃に太龍寺が創建されたとされる。
 鎌倉時代以降、武士の台頭に伴い、阿波国には様々な勢力が現れることとなるが、詳しくは後ほど、私が担当する文化財講座第10回でお話するので、今回は省略したい。